

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。
なお、日時および場所が変更となりましたので、ご注意願います。

記

1. 講師 日本大学 歯学部 薬理学講座
教授 小林 真之 先生
2. 演題 高次脳による口腔感覚情報処理機構
3. 日時 2019年1月25日(金)17:30~19:30
(変更前:2018年11月30日(金)17:30~19:30)
4. 場所 M&Dタワー 13階 大学院講義室2
(変更前:M&Dタワー 6階 共用セミナー室11・12)
5. 要旨

口腔顔面は多彩な感覚を受容し、摂食や発語など QOL を保つ重要な機能を担う。我々は、味覚と歯髄・歯根膜感覚、固有感覚の島皮質での情報処理様式について研究を進めてきた。その結果、各々の感覚刺激に応答する領域が島皮質内で近接し、感覚入力を攪乱させると神経回路が可塑的に変化することを明らかにした。本講ではその一端を紹介するとともに、嗅覚による疼痛制御という異なる感覚間での神経活動の修飾機構について議論したい。

連絡先:勝山 成美 (認知神経生物学分野 内線5445)